

R5年度 西遠都市圏総合都市交通体系調査

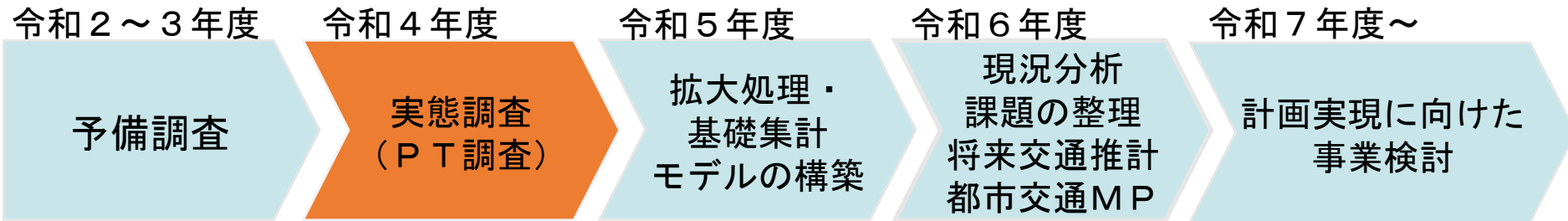
# 令和 4 年度調査結果と令和 5 年度の調査方針について

令和5年11月

# 令和4年度の調査結果

# 調査フローと推進体制

- 令和4年度より、協議会を設置し、3つの区分の会議構成で運営。
- 令和4年度は実態調査を実施した。



## 総合都市交通計画協議会

総合的な都市交通計画の策定に関する調査、研究及びこれに関する連絡、調整を行う

年度	主な議事
令和4年度	実態調査の実施
令和5年度	拡大処理・基礎集計モデルの構築
令和6年度	都市交通MPの検討

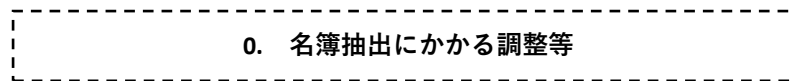
区分	役割	構成
委員会	計画策定に係る調査・研究の基本方針、重要事項の決定	国 県 市町 その他
幹事会	計画策定に係る企画調整等必要な事項の検討、資料作成	国 県 市町 その他
事務局	検討会の運営に必要な連絡調整	県 市町

# 西遠都市圏パーソントリップ調査 詳細フロー

R5.11.28現在

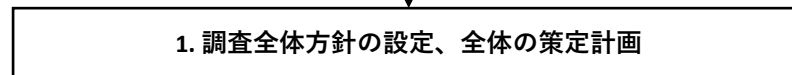
- 令和2～3年度は調査準備、令和4年度に実態調査、令和5年度にモデル構築、令和6年度に将来計画を予定。

## 令和2～3年度 【調査準備】

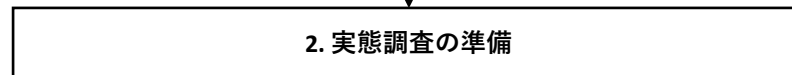


※予備調査委員会による検討

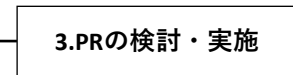
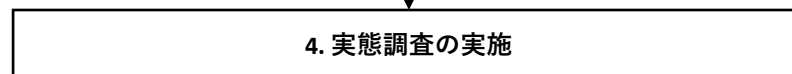
第1回委員会 (R4.7月)  
・調査課題  
・実態調査の実施方針等



## 令和4年度 【実態調査】

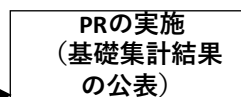
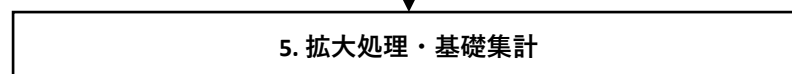


※補完・付帯調査実施しない  
(必要により各市町で実施)

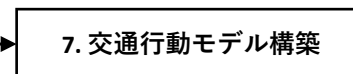
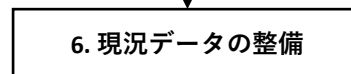


## 令和5年度 【モデル構築等】

第2回委員会 (R5.11月)  
・基礎集計 (集計データ)  
・モデルの方針等



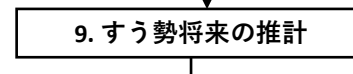
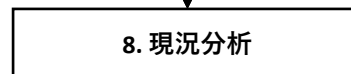
※モデル構築に向けては、学識経験者へ相談しながら実施



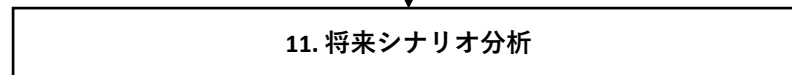
将来交通予測を兼ねる  
(アクティビティモデル)

## 令和6年度 【将来計画策定等】

第3回委員会 (R6.9月頃)  
・現況分析 (推計データ)  
・すう勢分析  
・シナリオ案 等

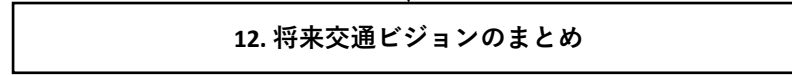


第4回委員会 (R6.12月頃)  
・シナリオ分析  
・ビジョン骨子

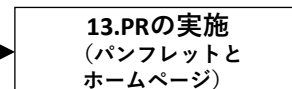


基本方針の設定

第5回委員会 (R7.3月頃)  
・ビジョン案



計画の策定



# 第5回調査の調査体系

- 第5回調査では、都市圏全域を対象に平日と休日の1日の交通行動を把握するパーソントリップ調査を基本として、公共交通利用者の1日の行動を把握するターミナル調査と企業の働き方に関する実態及び意向に関する調査を実施した。
- 加えて、自治体が個別に実施する調査やビッグデータ、その他の交通関連データを組み合わせて、一体的にデータ収集を実施する。

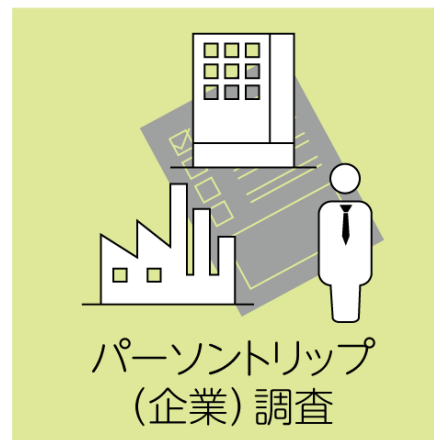
都市圏全域で実施



西遠都市圏の居住者の平日及び  
休日の1日の行動を把握



公共交通利用者の1日の行動を  
把握



西遠都市圏内の企業の働き方に  
関わる実態及び意向を把握

## 自治体が個別に実施した調査

パーソントリップ（補完）調査

パーソントリップ（三方原・都田事業所）調査

## 関連データの収集

ビッグデータ（携帯基地局データ）

鉄道やバスの乗降客数 等

# パーソントリップ（本体）と（補完）調査の概要

## ○調査目的

調査対象地域内に住む人々の1日の行動に関して、どのような人（性別、年齢、職業等）が、どんな目的（通勤、通学、業務、買物等）で、どこからどこへ、どのような交通手段（鉄道、バス、自動車、徒歩等）を使って、何時頃に、動いたのかなどについて、その実態を把握し、都市圏内の様々な交通現象を総合的に捉え、今後の都市交通計画策定のための基礎資料を得ることを目的とする。



	本体調査	補完調査
調査対象者	西遠都市圏内の居住者 (ただし5歳以上、外国人を除く)	三方原・都田地域の居住者 (ただし5歳以上、外国人を除く)
調査方法	郵送配付・郵送又はWEBでの回収	郵送配付・郵送回収
調査時期	令和4年9月～11月の平日及び休日	令和4年11月の平日及び休日
調査項目	<ul style="list-style-type: none"><li>世帯構成、回答者の基本情報：性別、年齢、職業、居住地など</li><li>移動の状況に関する項目：出発地・到着地、目的、交通手段など</li></ul>	※補完調査では、交通問題等に関する意識調査を実施

注) 外国人については、前回調査結果より、日本人と交通行動の違いがなかったことから、今回は調査対象外としている。

# パーソントリップ（本体）と（補完）調査の結果

- 本体調査では、目標回収世帯数4,500世帯（9,000サンプル）に余裕分を含めた4,950世帯のサンプル確保を目指して、27,645世帯に調査を依頼し、7,285世帯から回答を得ている（目標達成率は147%に到達）。
- 補完調査では、目標回収世帯数700世帯（1,400サンプル）に余裕分を含めた963世帯のサンプル確保を目指して、3,501世帯に調査を依頼し、946世帯から回答を得ている（目標達成率は98%に到達）。
- 総発送数に対する回収率は、合計で26.4%であった。

表 大ゾーン別回収状況

調査種類	市区町	目標回収数	発送世帯数	回収世帯数	回収率	目標回収率の達成率
本体調査	1_浜松市中区	1,030	5,647	1,446	25.6%	140%
	2_浜松市東区	514	2,806	646	23.0%	126%
	3_浜松市西区	409	2,218	600	27.1%	147%
	4_浜松市南区	402	2,192	526	24.0%	131%
	5_浜松市北区	351	1,919	515	26.8%	147%
	6_浜松市浜北区	354	1,946	541	27.8%	153%
	7_浜松市天竜区	113	611	193	31.6%	171%
	8_磐田市	616	3,636	1,006	27.7%	163%
	9_袋井市	311	1,820	440	24.2%	142%
	10_湖西市	213	1,256	309	24.6%	145%
	11_森町	60	355	124	34.9%	206%
	12_掛川市	417	2,302	674	29.3%	161%
	13_菊川市	159	937	265	28.3%	167%
	総計		4,950	27,645	7,285	26.4%
補完調査	総計	963	3,501	946	27.0%	98%
	合計	5,913	31,146	8,231	26.4%	139%

# パーソントリップ（本体）と（補完）調査の結果

- 手段別回収率は、web回収が約10%、紙回収率が約16%であった。大ゾーン別にみると、浜松市天竜区と森町で、紙比率が70%以上の高率に達した。

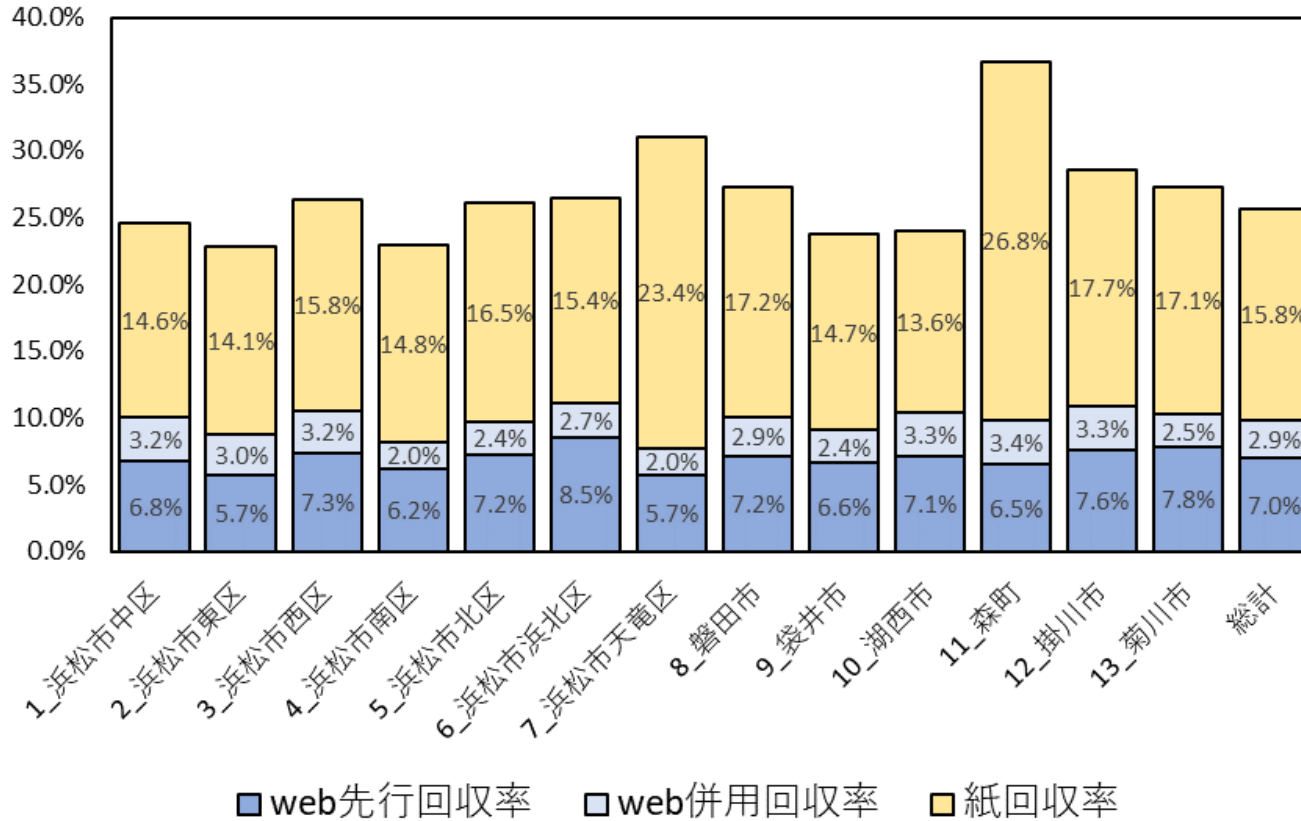


図 大ゾーン・手段別回収状況

注) 補完調査は、全て紙で調査を依頼



# パーソントリップ（本体）と（補完）調査の結果

- エラーチェック結果、最終的な本体調査の有効世帯数は、6,324世帯となり、個人票は平日13,231人、休日13,569人であった。標本設計により、目標としていた9,000人を大きく上回るサンプルの確保した。
- 補完調査の有効世帯数は、935世帯となり、個人票は平日1,817人、休日1,883人であった。

表 世帯票・個人票の有効人数・無効人数

	市町村	世帯票			個人票 (平日)	個人票 (休日)
		有効世帯数	無効世帯数	個人数	有効個人数	有効個人数
本体調査	浜松市	3,881	68	9,304	7,965	8,153
	磐田市	887	12	2,210	1,860	1,913
	掛川市	585	16	1,480	1,260	1,294
	袋井市	370	6	995	789	806
	湖西市	259	4	679	579	596
	菊川市	230	7	625	524	544
	森町	112	5	289	254	263
	合計	6,324	118	15,582	13,231	13,569
補完調査	浜松市	935	5	2,219	1,817	1,883
合計		7,259	123	17,801	15,048	15,452

# パーソントリップ（ターミナル）調査の概要

## ○調査目的

モデル構築のための補完データとして、調査対象地域内にて、鉄道やバスなどの公共交通を使う人の1日の行動に関して、どのような人（性別、年齢、職業等）が、どんな目的（通勤、通学、業務、買物等）で、どこからどこへ、何時頃に、動いたのかなどについて、その実態を把握することを目的とする。

## ○調査対象者

- ・西遠都市圏（浜松市、磐田市、袋井市、湖西市、森町、掛川市、菊川市）における代表的な鉄道駅及び周辺バス停（バスターミナル）の利用者

### 【対象とする鉄道駅】

- ・JR：浜松駅、磐田駅、御厨駅、袋井駅、鷲津駅、掛川駅、新所原駅、菊川駅
- ・遠州鉄道：浜松駅バスターミナル（BT）、上島駅、浜北駅、西鹿島駅、新浜松駅
- ・天竜浜名湖鉄道：遠州森駅、掛川駅、西鹿島駅、金指駅、新所原駅

## ○調査方法

- ・調査員の配付によるアンケート調査（WEBのみ）
- ・アンケート票は、個人属性の把握に関する調査票と個人のトリップに関する調査票（調査日の動き）の2種類をセットで配布

## ○調査時期

- ・令和4年11月～12月

## ○調査項目

- ・パーソントリップ（本体）調査と同じ



図 調査票の配布・ヒアリングの状況（写真）

# パーソントリップ（ターミナル）調査の結果

- WEB回答及びヒアリングでの回答により、約3,000件の回答が得られ、回収率は7.0%となった。
- 回答結果より、個人の移動データ等の漏れ抜けがない有効回答については、約1,600件で有効回答率は3.7%となった。

表 調査票配布・ヒアリング調査回答結果

配布駅No.	配布駅	①配布数	回答数		回収率 (②÷①)	有効回答率 (③÷①)
			②回答数	③有効回答		
1	浜松駅	12,500	824	367	6.6%	2.9%
2	磐田駅	2,200	140	65	6.4%	3.0%
3	御厨駅	600	47	28	7.8%	4.7%
4	袋井駅	1,237	74	30	6.0%	2.4%
5	鷺津駅	1,300	95	48	7.3%	3.7%
6	掛川駅	2,924	239	105	8.2%	3.6%
7	新所原駅	1,483	100	50	6.7%	3.4%
8	菊川駅	1,411	77	30	5.5%	2.1%
9	遠州森駅	142	5	3	3.5%	2.1%
10	西鹿島駅	439	41	14	9.3%	3.2%
11	金指駅	180	8	2	4.4%	1.1%
12	浜松駅BT	10,400	443	187	4.3%	1.8%
13	上島駅	600	45	21	7.5%	3.5%
14	浜北駅	376	36	18	9.6%	4.8%
15	新浜松駅	3,000	226	90	7.5%	3.0%
追加	ヒアリング	520	520	520	100.0%	100.0%
	配布	3,990	109	40	2.7%	1.0%
	小計	4,510	629	560	13.9%	12.4%
計		43,302	3,029	1,618	7.0%	3.7%

# パーソントリップ（ターミナル）調査の結果

- エラーチェック結果、最終的な有効個人数は1,559人であった。
- 標本設計により、目標としていた2,000人を下回るものの、本体調査にて多く公共交通利用者のサンプルを確保できていることから、モデル構築に必要な2,000サンプルは確保できると想定される。

表 世帯票・個人票の有効人数・無効人数

駅名	世帯票				個人票		
	有効世帯数	無効世帯数	有効個人数	無効個人数	有効個人数	無効個人数	トリップ有効個人数
浜松駅	347	20	347	20	347	20	347
磐田駅	63	2	63	2	63	2	63
御厨駅	26	2	26	2	26	2	26
袋井駅	32	1	32	1	32	1	32
鷲津駅	46	2	46	2	46	2	46
掛川駅	97	8	97	8	97	8	97
新所原駅	48	2	48	2	48	2	48
菊川駅	29	1	29	1	29	1	29
遠州森駅	2	0	2	0	2	0	2
西鹿島駅	14	0	14	0	14	0	14
金指駅	2	0	2	0	2	0	2
浜松駅バスターミナル	176	11	176	11	176	11	176
上島駅	18	3	18	3	18	3	18
浜北駅	15	3	15	3	15	3	15
新浜松駅	87	3	87	3	87	3	87
予備配布	557	1	557	1	557	1	557
合計	1559	59	1559	59	1559	59	1559

# パーソントリップ（企業）調査の概要

## ○調査目的

新型コロナウイルス感染症拡大以降、働き方が多様化してきており、特に大企業の方針は関連企業への効果が波及することから、今後の西遠都市圏の交通行動を考える上でも重要な要素となる。

そこで、西遠都市圏に立地する主要企業を対象に、テレワークの実施方針などの今後の働き方に関する意向について調査を実施する。また、働き方以外にも、西遠都市圏での交通政策検討の参考となる情報として、事業所の立地や移転の意向、企業が主体となる交通対策についても、把握することとする。

## ○調査対象者

- ・西遠都市圏内に本社のある企業を対象として調査を行うが、一部、都市圏外に本社のある事業所についても対象に加える。
- ・従業員規模や業種を考慮して抽出を行い、約300社程度に調査依頼

## ○調査方法

- ・郵送配布、郵送回収方式を基本（事前の参加依頼を実施）

## ○調査時期

- ・令和5年1月～2月

## ○調査項目

- ・働き方に関する項目：テレワーク実施状況、今後の意向など
- ・移動の状況に関する項目：交通対策の有無、通勤手当や駐車・駐輪場の現況など
- ・企業の基本情報：所在地、業種、従業員数など

# パーソントリップ（企業）調査の結果

- 調査票を配布した企業382社からの有効回収総数は170社である。

表 市町別の調査票有効回収数

市町	配布件数			有効回収数			有効回収率		
		優先	予備		優先	予備		優先	予備
浜松市	245	132	113	100	57	43	40.8%	43.2%	38.1%
磐田市	27	16	11	11	8	3	40.7%	50.0%	27.3%
袋井市	30	18	12	14	9	5	46.7%	50.0%	41.7%
森町	8	8	0	5	5	0	62.5%	62.5%	-
湖西市	17	15	2	10	9	1	58.8%	60.0%	50.0%
掛川市	33	22	11	17	13	4	51.5%	59.1%	36.4%
菊川市	18	17	1	9	9	0	50.0%	52.9%	0.0%
三方原・都田事業所	4			4			100.0%		
合計	382	228	150	170	110	56	44.5%	48.2%	37.3%

# 参考：パーソントリップ（企業）調査の結果～企業リスト（本社）～

企業名	市町（区）	従業員数
遠鉄システムサービス（株）	浜松市中区	347
静岡エフエム放送株式会社	浜松市中区	35
（株）プロム・マスタ	浜松市中区	18
中村建設株式会社	浜松市中区	223
グローバル・リンクス・テクノロジー株式会社	浜松市中区	35
（株）泉組	浜松市中区	15
株式会社ハブ	浜松市中区	23
中道工業株式会社	浜松市中区	36
小栗株式会社	浜松市中区	48
三立製菓（株）	浜松市中区	615
鳥居食品（株）	浜松市中区	17
（株）岩田商店	浜松市中区	30
株式会社北伸	浜松市中区	16
アズマ工業（株）	浜松市中区	113
株式会社アイケア	浜松市中区	726
株式会社フジヤマ	浜松市中区	442
サゴールサービス（株）	浜松市中区	40
株式会社エムシーフードサービス	浜松市中区	60
（株）大場上下水道設計	浜松市中区	25
遠鉄タクシー株式会社	浜松市中区	618
株式会社イシグロ	浜松市中区	583
株式会社ネクサス	浜松市中区	172
（株）プティック・ビギ	浜松市中区	61
共栄建設（株）	浜松市中区	20
株式会社ユーシン	浜松市中区	21
サゴールエンタプライズ株式会社	浜松市中区	77
ヤマハピアノサービス株式会社	浜松市中区	23
NANAシステムズ開発株式会社	浜松市中区	11
株式会社ランドマーク	浜松市中区	170
笠井合同小型運送（株）	浜松市中区	16
株式会社SPLYZA	浜松市中区	50
MP株式会社	浜松市中区	8
（株）総合ビジネスブレイン・道	浜松市中区	25

企業名	市町（区）	従業員数
ヤマザキ・シー・エー株式会社	浜松市中区	150
ネッツトヨタ静浜（株）	浜松市東区	314
株式会社テンイチ	浜松市東区	39
株式会社ショービ	浜松市東区	333
富田ピアノ有限会社	浜松市東区	21
渥美工業株式会社	浜松市東区	3
（有）ヤヨイ製作所	浜松市東区	15
佐藤産業株式会社	浜松市東区	43
大光電機（株）	浜松市東区	17
明管工業（株）	浜松市東区	35
株式会社共同	浜松市東区	389
とびあ浜松農業協同組合	浜松市東区	1386
浜名酪農業協同組合	浜松市東区	40
株式会社フォーリア	浜松市東区	91
（株）浜松高周波	浜松市東区	22
リンクウィズ株式会社	浜松市東区	49
浜松日産自動車株式会社	浜松市東区	600
遠州信用金庫	浜松市中区	329
テイオー産業株式会社	浜松市東区	36
佐竹興業	浜松市東区	30
株式会社スズキ自販浜松	浜松市西区	340
ソフトブレン工業株式会社	浜松市西区	113
株式会社浜建	浜松市西区	27
医療法人社団松愛会松田病院	浜松市西区	145
トクラスプロダクツ株式会社	浜松市西区	368
株式会社小楠金属工業所	浜松市西区	384
遠鉄観光開発	浜松市西区	535
株式会社川嶋	浜松市西区	35
（株）章和製作所	浜松市西区	33
株式会社黒柳硝子	浜松市西区	14
トクラス株式会社	浜松市西区	700
平岡ポデー株式会社	浜松市西区	452
株式会社一条工務店	浜松市西区	7313

企業名	市町(区)	従業員数
静岡伊奈製品販売株式会社	浜松市南区	24
レワード株式会社	浜松市南区	40
(株)協栄製作所	浜松市南区	263
株式会社弘栄水産	浜松市南区	33
林工住宅株式会社	浜松市南区	75
東和運輸倉庫株式会社	浜松市南区	322
THKリズム(株)	浜松市南区	842
荒沢株式会社	浜松市南区	35
リンクス福祉サポート(株)	浜松市南区	19
株式会社浜名湖ライフサポート有料老人ホームみかんの郷	浜松市北区	31
株式会社プラス電機	浜松市北区	13
小笠原マル昇株式会社	浜松市北区	27
つばい工業株式会社	浜松市北区	71
株式会社I S S西川機械	浜松市北区	28
中部メタル販売株式会社	浜松市北区	15
(株)スズキ部品製造	浜松市北区	390
有限会社勝美	浜松市北区	12
株式会社キヨヒコ	浜松市浜北区	10
天星製油株式会社	浜松市浜北区	56
株式会社丸久組	浜松市浜北区	14
やまと興業株式会社	浜松市浜北区	334
朝日電装(株)	浜松市浜北区	590
龍山森林組合	浜松市天竜区	40
天龍土建工業(株)	浜松市天竜区	31
株式会社ベーシック	磐田市	9
(株)シグマ技研	磐田市	39
(株)山本産業	磐田市	23
株式会社フィールアンドクリエイション	磐田市	38
イワタプレス工業株式会社	磐田市	42
(株)オーミ	磐田市	32
川合肥料株式会社	磐田市	25
(株)小出製作所	磐田市	84
株式会社渥美	袋井市	39

企業名	市町(区)	従業員数
(株)アート総合設計	袋井市	14
(株)ココチ・ヒロオカ	袋井市	19
株式会社ひしだいパックス	袋井市	42
浅羽梱包(有)	袋井市	50
(株)ユニオンサービス	袋井市	
(株)サンワネッツ	袋井市	702
(株)ヤマハリゾート	袋井市	225
豊田有機(株)	袋井市	12
株式会社アクティ森	森町	40
有限会社トキワエンジニアリング	森町	25
有限会社高柳製作所	湖西市	26
イオインダストリー株式会社	湖西市	311
プライムアースE V エナジー株式会社	湖西市	4618
株式会社郷美の浜	湖西市	29
(株)ウエストレイク	湖西市	54
ユニクラフトナグラ株式会社	湖西市	277
株式会社三和製作所	湖西市	41
富士協同運輸株式会社	湖西市	20
(有)鷺津メッキ工業所	湖西市	96
(株)藤本組	掛川市	38
社会福祉法人大須賀苑	掛川市	139
三笠運輸(株)	掛川市	182
丸山製茶株式会社	掛川市	57
松浦梱包輸送株式会社	掛川市	436
N E C 静岡ビジネス(株)	掛川市	143
島田掛川信用金庫	掛川市	841
大和鍛工(株)	掛川市	80
(株)若杉組	掛川市	47
中遠ガス(株)	掛川市	21
菊川タクシー有限会社	菊川市	35
フジオーゼックス(株)	菊川市	670
マルマツ食品有限会社	菊川市	28
株式会社落合組	菊川市	21
静岡近交運輸(株)	菊川市	40



## 参考：パーソントリップ（企業）調査の結果～企業リスト（本社以外）～

事業所名	市町（区）	事業所 従業員数
大和ハウス工業（株）浜松支店	浜松市中区	132
日本生命保険相互会社浜松支社	浜松市中区	740
大樹生命保険（株）浜松支社	浜松市中区	
住友生命保険相互会社浜松支社	浜松市中区	43
リコージャパン株式会社浜松事業所	浜松市中区	114
本田技研工業（株）トランスミッション製造部	浜松市中区	2031
（株）テクノウェアシंक浜松支店	浜松市中区	45
ヤマト運輸株式会社 浜松主管支店	浜松市東区	404
日本トムソン（株）	浜松市南区	12
株式会社トーモク浜松工場	浜松市南区	67
アマノ（株）細江事業所	浜松市北区	337
スタンレー電気株式会社浜松製作所	浜松市北区	352
スズキ株式会社浜松工場	浜松市北区	
浜松ホトニクス中央研究所	浜松市浜北区	
ジェイティエンジニアリング（株）東海支店	磐田市	7
日本たばこ産業株式会社東海工場	磐田市	291
三和合成化学株式会社	磐田市	20
ワールドウイング株式会社袋井工場	袋井市	30

事業所名	市町（区）	事業所 従業員数
株式会社サンエー化研	袋井市	111
共和ライフテクノ（株）袋井	袋井市	49
ポーラ化成工業（株）袋井工場	袋井市	430
ニチアス株式会社袋井工場	袋井市	441
サンフード機販株式会社静岡工場	森町	34
豊田合成森町工場	森町	1400
株式会社京浜工業所静岡工場	森町	37
（株）デンソー湖西製作所	湖西市	4120
ダイトーケミックス株式会社	掛川市	92
（株）サカタのタネ掛川総合研究センター	掛川市	200
清水ハウス（株）静岡工場	掛川市	709
リンナイテクノカ株式会社	掛川市	666
株式会社スギノマシン掛川事業所	掛川市	100
矢崎部品株式会社 大浜工場	掛川市	1068
メルクエレクトロニクス株式会社	掛川市	270
（株）ミクニ菊川事業所	菊川市	773
三鷹光器株式会社菊川工場	菊川市	16
株式会社浅野	菊川市	59
株式会社生駒化学工業	菊川市	190

# パーソントリップ（企業）調査の結果

- エラーチェック結果、最終的な有効な企業票168票、事業所票212票であった。
- 目標の150社を上回った。

表 企業票・事業所票の最終有効票数

市町	調査票枚数（本社）		調査票枚数（本社以外）	
	企業票	事業所票	企業票	事業所票
浜松市	88	124	11	12
磐田市	8	7	3	3
袋井市	9	12	5	5
森町	2	2	3	3
湖西市	9	13	1	1
掛川市	10	14	6	7
菊川市	5	5	4	4
三方原・都田事業所	2	0	2	0
合計	133	177	35	35

# ビッグデータの概要

- 域外来訪者の実態把握とアクティビティベースドモデルの検証の2つを目的にドコモインサイトマーケティングが提供している国内人口分布統計を活用することとした。

表 ビッグデータの概要

データ種別	国内人口分布統計
対象範囲	静岡県全域
対象データ	1か月平均値
対象期間	2022年10月
エリア粒度	500mメッシュ
属性	①総数 ②性年代 ③都道府県別 ④市区町村別 ⑤勤務・居住オプション（居住者/勤務者/来訪者）
平日・休日別	区分あり

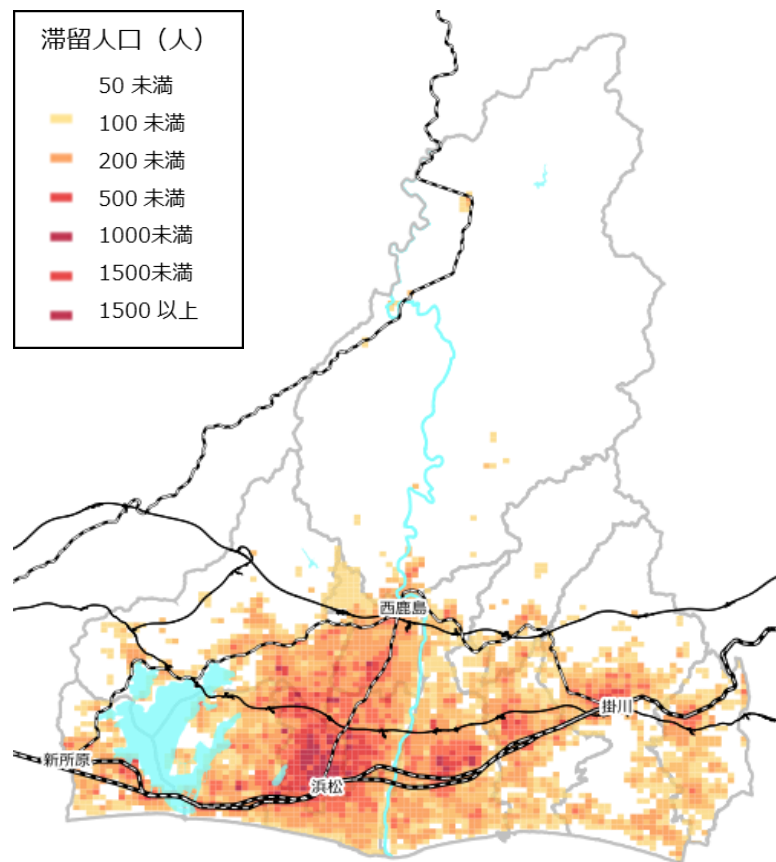


図 10月平均の12時台の滞留人口

新たな人口統計

端末数から人口を推計



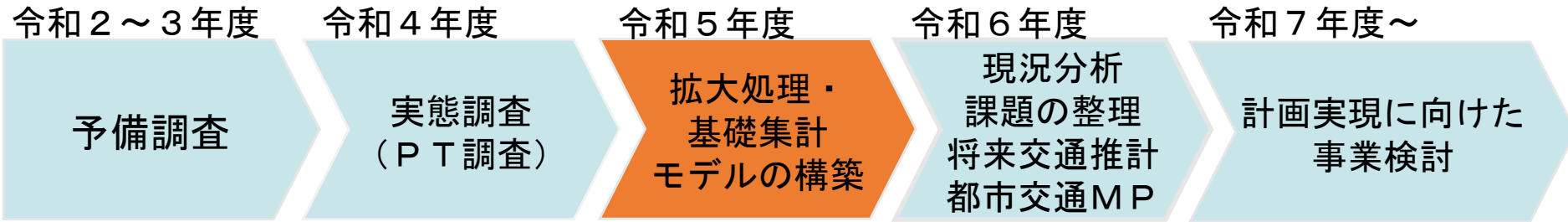
国内 約8,500万台 ※1  
訪日外国人 約1,200万台 ※2  
の運用データ ※3

※1 2022年3月（本台数より法人名義の契約データ等を除去して推計）  
※2 2019年実績  
※3 携帯電話をいつでも接続可能な状態に保つために必要なデータ

# 令和5年度の調査方針

# 調査フローと推進体制（再掲）

- 令和4年度より、協議会を設置し、3つの区分の会議構成で運営。
- 令和5年度は**拡大処理・基礎集計及びモデルの構築を実施**



## 総合都市交通計画協議会

総合的な都市交通計画の策定に関する調査、研究及びこれに関する連絡、調整を行う

年度	主な議事
令和4年度	実態調査の実施
令和5年度	拡大処理・基礎集計モデルの構築
令和6年度	都市交通MPの検討

区分	役割	構成
委員会	計画策定に係る調査・研究の基本方針、重要事項の決定	国 県 市町 その他
幹事会	計画策定に係る企画調整等必要な事項の検討、資料作成	国 県 市町 その他
事務局	検討会の運営に必要な連絡調整	県 市町

# 令和5年度の検討項目一覧

- 令和5年度は、“拡大処理・基礎集計”と“アクティビティベースドモデルの構築”の2つを並行して実施するとともに、検討を円滑に進めるための各種会議を開催予定

## 拡大処理・基礎集計

01

### マスターデータの作成

拡大処理に基づき、都市圏の母集団特性を踏まえた統計データを作成

02

### 基礎集計

マスターデータを用いて、外出率やトリップ数などの基礎的な指標を整理

03

### PRの実施

基礎集計を用いて、HPを更新  
また、PR用のパンフレット原稿を作成

## アクティビティベースドモデルの構築

04

### 現況データの整備

モデルの構築に必要な現況データを整備。次年度利用する将来データも合わせて整備。

05

### 交通行動モデルの構築

ABMのモデル構造を検討し、構築

06

### 委員会等の開催

検討方針の決定等を行う委員会に加えて、実務担当者との討論会を実施

# 拡大処理・基礎集計、アクティビティベースドモデルの概要

## ■ 拡大処理・基礎集計

- 拡大処理は、昨年度の本体調査及び浜松市が独自に実施した補完調査を活用し、調査設計を踏まえた統計データを作成するもの。
- 第4回までのPT調査で作成していた「ゾーンレベルでの分析用データ」に加えて、「緯度経度単位での分析が可能なデータ」の2種類を作成
- 「ゾーンレベルでの分析用データ」を用いて、外出率や原単位、トリップ数などの基礎的な指標を集計し、10年前からの交通行動の変化を速報として提示

## ■ アクティビティベースドモデルの構築

- 将来の交通行動の変化を予測するため、また、現況のより細かなゾーン単位での分析を行うためのデータ作成するためにアクティビティベースドモデルを構築
- 第4回までは、将来の交通量を推計することに重きを置いていたため、四段階推定法を採用していたが、第5回調査では交通量に加えて、外出率や移動回数の変化、属性別の移動の変化など、個々人に着目した変化を把握できるように、アクティビティベースドモデルを採用

# PRの実施

## ■パンフレットの作成

- 過年度実施したパーソントリップ調査の概要（PT調査とは、目的、調査圏域、調査内容、調査方法、調査スケジュール等）や都市圏の概要（人口動向、土地利用、産業等）、基礎集計結果（速報値）などをもとに調査のPR用のパンフレットを作成

※パンフレットの作成にあたっては、速報値を活用するため、最終版にて値が変更する可能性がある旨を記載し、作成

## ■調査PR用のホームページの更新

- 調査の進捗状況の更新を中心に、検討状況を順次、公表予定

### <想定される主なコンテンツの更新>

- 調査スケジュールの更新（R4からR5にステータスを変更）
- “情報” ページにパンフレットのPDFデータを掲載
- “協議会” ページにR5年度に実施する委員会等の概要を掲載
- 市町担当者への限定公開として、モデル勉強会資料の掲載



# 委員会等の開催

## ■委員会・幹事会・事務局会議

- 拡大処理の結果及び基礎集計結果の速報値の報告やアクティビティベースドモデルの構築方針等について議論

## ■モデル勉強会及びシナリオ討論会

- 今回調査より、アクティビティベースドモデルを活用した将来推計を実施することから、モデルの概要に関する勉強会を講義形式で担当者向けに開催
- 次年度の課題分析を含むプランニングに向けて、西遠都市圏の将来像について意見交換する場を開催（4回を予定）

### モデル勉強会

参加者：静岡県・浜松市及び都市圏内の市町のP T業務担当者

内容：四段階推定法及びABMの手法、これらを活用した分析事例など

場所：浜松市役所

日程：8/23（水）午後

時間：14:00~16:30

### シナリオ討論会

参加者：静岡県・浜松市及び都市圏内の市町のP T業務担当者

※必要に応じて、交通事業者等の関連団体にもヒアリングを実施予定

内容：各プレイヤーの課題認識、次年度検討するシナリオ案や施策案など

回数：4回を予定

# 委員会の議題

- 委員会の主な議題と論点は以下の2点。

## 1:第5回調査の基礎集計結果(速報値)

- 基礎集計（速報値）の結果について、違和感を感じる点はないか。
- 速報値を踏まえ、次年度から現況分析を進めるにあたり、どのような視点を考慮すべきか。

## 2:アクティビティベースモデルの構築方針

- 計画課題の検討に必要な評価ができるモデルの構造になっているか。
- モデルの構築に向けて、他に留意すべき事項はないか。